



心ゆたかに

三芳町立藤久保中学校 学校だより 第1号

学校教育目標

「進取果敢～自ら学び、挑み、未来を拓く生徒～」

令和8年4月15日(水)発行 文責 菅谷 和孝



新HP

「進取果敢」

校長 菅谷 和孝

今年度新たに102名の新入生を迎え、2年生102名、3年生94名、全校生徒数298名、教職員総数40名で令和8年度がスタートしました。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生の皆さん、進級おめでとうございます。藤久保中学校に着任し校長3年目となりました。今年度から学校教育目標を新たにし、新1年生から体育着・ジャージをリニューアルし、生徒手帳をカードタイプに変更しました。また、藤久保小学校との連携も一層強化していきながら、「藤久保学園」としてリスタートして参ります。今後も学校・家庭・地域の皆様がチームとなって、生徒の成長をサポートしていければと思います。引き続き、「全ては生徒のために」を心がけ、教職員一同全力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



さて、今年度の入学式において披露させていただきました式辞をご紹介します。

皆さんが生きる今の時代は、技術が進化し、インターネットやSNSを通じて膨大な情報があふれています。何が正解かを見極めるのが難しい時代だからこそ、本校は今年度より、新たな学校教育目標を掲げました。

「進取果敢～自ら学び、挑み、未来を拓く生徒～」です。

‘進取果敢’とは「自ら進んで物事に取り組み、決断力に優れている」という意味です。

この目標を実現するために大切にしてほしいのが、自ら考え、自ら動く「自主自立」の精神、そして一步を踏み出す挑戦、「藤中 Action」です。

しかし、挑戦し続けることは、時に勇気がいります。周りと自分を比べて不安になることもあるでしょう。そんな時、皆さんに大切にしてほしい考え方があります。それが、「足るを知る」ということです。

これは、現状に満足することではありません。「すでに自分の中に、挑戦するに足る力、すなわち、自分にはもう一步踏み出せる力が備わっている」と気づくことです。

「自分にはまだ実力がないから」「失敗したら恥ずかしいから」と、自分に無いものを数えて足踏みする必要はありません。皆さんには、これまでの経験で培った感性があり、考える力があり、そして何より「やってみよう」という意志があります。自分の中にある可能性を認め、自分を信じる。その心の土台があってこそ、人は初めて「進取果敢」に、未知の世界へと踏み出していくことができるのです。

そして、その挑戦の道に欠かせないのが「仲間」の存在です。これまでは「一緒にいて楽しい友達」だったかもしれません。しかし、これからは「ともに悩み、高め合う仲間」になってほしいと思います。行事、部活動、そして日々の学習。そこには必ず「挑戦」があります。時には意見がぶつかることもあるでしょう。

しかし、互いの違いを認め、補い合い、支え合う経験こそが、皆さんを真の自立へと導きます。自分を信じ、仲間を信頼すれば、一人では決して届かない高い壁も、必ず乗り越えていけるはずです。

中学校生活の三年間は、皆さんが想像している以上に、彩り豊かで、心震える瞬間に満ちています。昨日の自分にはできなかったことが、仲間となら今日できるようになる。一人で悩んでいた景色が、仲間の言葉ひとつで、希望に満ちた新しい景色に変わる。そんな「自己の更新」と「出会いの奇跡」を、この藤久保中学校で存分に味わってください。皆さん一人ひとりが主役となり、この学び舎でどんな「藤中 Action」を巻き起こしてくれるのか、私たちは楽しみでなりません。皆さんの前には、無限の可能性が広がっています。自信を持って、一步前へ踏み出して行きましょう。

今年度も保護者・地域の皆様には、様々な御協力を賜ることになるかと思いますが、何卒、本校生徒のために御尽力いただけると幸いです。どうぞよろしくお願ひいたします。